

法人（事業所）理念		“大丈夫”があるから誰とでも語り合える						
支援方針		見守る、待つ、支える						
営業時間		10 時	15 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	お迎え先事業所出発(行き) 平日下校後／休日10時15分 お送り先事業所出発(帰り) 平日17時30分／休日16時30分
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	保護者や関係機関との情報共有による健康状態の把握に努め個別支援を行う。エアコンや換気での室温調整や飲料水提供での水分補給などで健康状態の維持を図る。予定表の掲示や個別の声かけで利用者に予定を認識してもらい、時間を意識した行動ができるように支援する。静養室の活用で個別対応が可能な安全基地の提供を行う。						
	運動・感覚	室内スポーツ、工作活動、楽器演奏などの活動を通して身体を刺激し運動機能の向上を図る。						
	認知・行動	心理学を基礎とした活動で自己理解を促すと同時に得意・不得意な能力を日常生活で活用できるように支援する。心理系活動でコーピングの学習・体験を行い適応能力の向上を図る。個別・集団での楽器演奏を通して、視覚・聴覚・触覚などの認知機能の向上を図る。						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力における、個別・集団でのあいさつ・自己紹介、話し方・聞き方、感情表現、他者の視点の理解の獲得を目指す。カード・ボードゲームなどの活用で、利用者同士の自発的な交流機会を促し実践的な対話能力獲得の場を提供する。						
	人間関係 社会性	キャリア教育の個別・集団活動を通して、ルールの遵守や他者と協力する社会性を身につけられる支援を行う。自由時間の遊びの中で、利用者の発達段階や特性に応じた支援を行い、1人遊びだけでなく協同遊びも楽しめるようにする。						
家族支援		療育の様子を写真や文章で利用日ごとに保護者へ公開する。利用者の発達上の課題を個別に観察し、必要に応じて保護者と連携しながら支援に反映させる。				移行支援	必要に応じて学校等に訪問し利用者の発達や特性の情報提供を行う。	
地域支援・地域連携		地域の公園や観光施設の訪問、公共交通機関の利用で地域交流を図る。関係機関と連携し担当者会議を実施するなど包括的な支援を行う。				職員の質の向上	定期的に内部研修を行い特性に応じた支援方法を学ぶ。外部研修に参加をして専門的な知見を深める。	
主な行事等		休日や長期休暇にはお出かけなどを実施する。その他、季節に応じたイベントを実施予定です。						